

◆暮らしサポート サポート・ワン◆訪問介護  
 ナイス・ケア◆通所介護ナイス・デイ◆小規模多機能型居宅介護ナイス・ホーム◆住宅型有料老人ホーム愛宕の家◆有料職業紹介  
 つしま紹介所◆学童・託児ナイス・キッズ◆喫茶てのひら◆てのひら治療院

**SOS** vol. 230通信  
 R元年10月7日発行

発行元：株式会社サポート・ワン・サービス  
 愛知県津島市愛宕町四丁目113〒496-0036  
 代表TEL：(0567) 26-3921  
 FAX：(0567) 26-3922  
 ホームページ <http://www.s-o-s.co.jp>

**問合わせ・見学 大歓迎！！**

《利用状況案内板 (☆募集中★満員)》

- ☆ナイス・ケア
- ☆ナイス・デイ (定員 10名)

月	火	水	木	金	土
5	6	5	5	3	8

- ☆ナイス・ホーム (定員 21名、現在登録者 21名)
- ☆愛宕の家 (定員 17名中入居者 11名)
- ☆つしま紹介所 (有料職業紹介)
- ☆ナイス・キッズ (学童保育・託児)

《10月行事予定》

- 8日 遠足
- 15日 秋の大運動会
- 20日 総合防災訓練
- 30日 誕生日会

《不定期行事》

天気や意欲等で状況判断し、外出先一覧を参考に社会生活に参加します。

《教室案内》

- 打太鼓「夏の宴」「秋祭り」に演奏するため臨時教室開催
- コーラス 水曜日(月2回)

場所：喫茶てのひら

※職員やキッズ達の趣味活動を兼ねて各教室を発足。地域の方々にも参加していただけます。

※各教室月謝制で、定員あり。詳細はお問い合わせ下さい。



声にならない声/ナイス・ケア

1日の大半をベッド上で過ごされるAさんに日に3回訪問します。ヘルパーは排泄や食事の介助を行います。介助時には、食事の量は多くないか、食事や排泄交換時の姿勢は苦しくないか等、問いかけます。返ってくる言葉は少なく、ヘルパーを気遣ってなのか、遠慮なのか、本当の気持ちが分からない時が少なくありません。

物静かな方で介助について不満を言われる事もなく、終了時にはいつも「ありがとう」と言われます。そんな中、先日訪問すると、オーバーテーブルに新聞記事が置いてありました。見ると伊勢湾台風時の看護師さんの活躍記事でした。水の引かない中、患者さんのことを一番に考えて活動したという内容。Aさんに記事のことを話題にすると、うなずきながら、目に涙を浮かべられていました。(Aさん、看護師だったのです。)一瞬にしてその頃に戻られた様でした。改めて、Aさんが歩んできた人生、その中での想いや経験を想像し、今現在のAさんがみえると感じました。

色んな苦勞が分かるからこそ、物静かに見守っていているのかもしれない。声にならない声を私達がキャッチする術を身に付けなければならない。そう思いました。Aさんに限らず、どの利用者さんいろいろな本音があると思います。利用者さんの声にならない声、本当の想いを汲みながら、日々関わらせて頂ける様、努めていきたいと思っています。(K・N)

法人全体の見直し/S・O・S

平成7年、在宅事業開始から令和元年迄の期間、当初の料金設定等の見直しを一切行わず事業運営をしてきましたが、この度、国の施策でもある『働き方改革』『消費税10%』の施行確定により、法人全体の事業形態及び料金設定の見直しを行うことを決意致しました。

更に諸々の設定を見直し、より生活実態に対応し易くなるよう考えました。弊社の在宅事業先立でであった請負事業を、SOSの特徴でもある【困った時のお手伝い】を主とする「暮らしサポート・サポート・ワン」として新たに開設致しました。

現在ご利用いただいている方の中には事業形態の移行や料金改定により負担増となる方もみえますが、今後もより良いサービス提供を維持継続するための見直しに何卒ご理解とご承諾をお願いする所存です。

ぎりぎりまで詳細が決まらず、説明が遅くなりましたことも重ねてお詫び申し上げます。今後とも、変わらぬご愛顧の程、何卒よろしくお願い致します。

代表取締役 飯尾淑子

家族の思い/愛宕の家

私事で恐縮ですが、同居している義母が体調を崩し、入院手術をする運びとなりました。いくつもの検査や、診察、手続きを行うのですが、これがまあ大変。それは置いといて、そこで感じたのが、大きな総合病院ともなるといろんな職員と関わる事になり、その対応は、マニュアルはあるのでしょうか千差万別。嫌な思いをする事もあるれば、とても気持ちのよい対応をされることもありました。

これを自分たちに当てはめると、『利用者さんやその御家族はどのように感じてみえるのだろう』と、改めて考えると襟を正さずにはいられない思いになり、ご家族の思いが垣間見えた出来事でした。以前もここでお伝えしたかとおもいますが、『自分の親だったらこんな風に接して欲しいな』という事を意識しつつ、あの時、病院で気持ちのよい対応をされた職員さんを思い出しながら、日々励んでいこうと思います。(K・T)

令和10年の私を想像して.../ナイス・ホーム

『小規模多機能型居宅介護』  
 世間一般の方々はこの制度の事をどの程度認識しておられるのかなあと考えています。いつ、介護が必要になるかは誰にも予測が付きませんし、ましてや、元気な時に真剣に考えるなんて事はあまりないですから...。私は、想像してみます。

令和10年を迎える頃、私は78歳、夫は81歳。主人が要介護状態になったとしたら、私は迷わず“小規模多機能型居宅介護”に登録しようと決めています。

週3回くらいは【通い】を利用して、私(介護者)の時間を作りたい。通いで顔馴染みのある職員さんに【訪問】にも来てもらい、私の苦手な部分と夫の世話を手伝ってもらいたい。時々【泊まり】を利用して、私が友人と出掛ける時間を作ってもらいたい。【通い】で関わってもらっている職員さんが【泊まり】の世話もしてくれるから安心。要介護者も大事ですが、介護者(世話をする家族)も大事にしてもらいたい！なんて、わがままな私ですが、もし私が先に要介護状態になったとしたら、夫を手伝ってもらい、私らしく、安心して自宅で暮らせるように、小規模多機能の制度を利用したいと思っています。(E・T)

七宝焼きアートビレッジへ遠足



みんなで楽しくお弁当



子ども獅子



いよいよ本番！/打太鼓

“瀨高秋祭りオープニング和太鼓”のために臨時結成した打太鼓。令和元年10月6日(日)、ついに本番を迎えました。今回、『地域に貢献！』の想いで瀨高地区の子ども達を対象に無料の短期和太鼓教室(計6回)を開催。募集で集まった計5名の子ども達。

「太鼓を打ってみたい！」と参加した子ども達の一生懸命な姿に、指導する私も心打たれる日々。毎回の成長が楽しみな限りでした。



本番当日。地域の子も達は、今までは「見る側」、今回は「見せる側」。本番を終え、「友達の前で演奏できて楽しかった」とニコニコ顔でした。何かに打ち込み、仲間と頑張れる時間、その成果を一緒に喜べる機会、拍手をもらった時のはにかむ瞬間。いつの時代も一牛懸命な子ども達の姿は、心に響くものがありますね。(R・W)

学び/ナイス・デイ

大分県では高齢ドライバーに対して、無料で安全運転の技術指導をしているそうです。そのTV番組の最後で、30歳代の指導員が、受講者(高齢者)に、『私のような若輩者が指導だなんて...。本当におがましいです。申し訳ありません。今後共、くれぐれも安全運転をお願いします。』と頭を下げていました。『若い指導者』『高齢の受講者』

私は、その指導員の姿に胸が熱くなりました。介護も同じ。介護を受ける(利用者)側が受身ばかりでは、「悪いな」「ありがとね」という申し訳ない気持ちばかりにさせてしまう。やはり、そこはお互い様で、出来る事はやってもらう。助けてもらう。という極当たり前な関わりをもう1度振り返ってみよう。私も若い指導員さんのつめの垢でも頂かないと...。(M・O)



利用者さんとハロウィンの壁飾り作り♪



《編集後記》

幾分と涼しくなりました。皆さん体調は崩してみえないでしょうか？今年は「インフルエンザの流行が早くなるかも!？」なんて言われています。体調管理を万全に冬を迎えましょう。(Y・O)

SOS通信はホームページへの掲載と合わせ、地域関係者や事業所、ご家族様へも発送しています。

10月の発送部数 105部